

令和 3 年度多文化共生社会の形成の推進に関して講じた施策

【多文化共生社会の形成の推進に関する条例第 2 1 条に基づく報告】

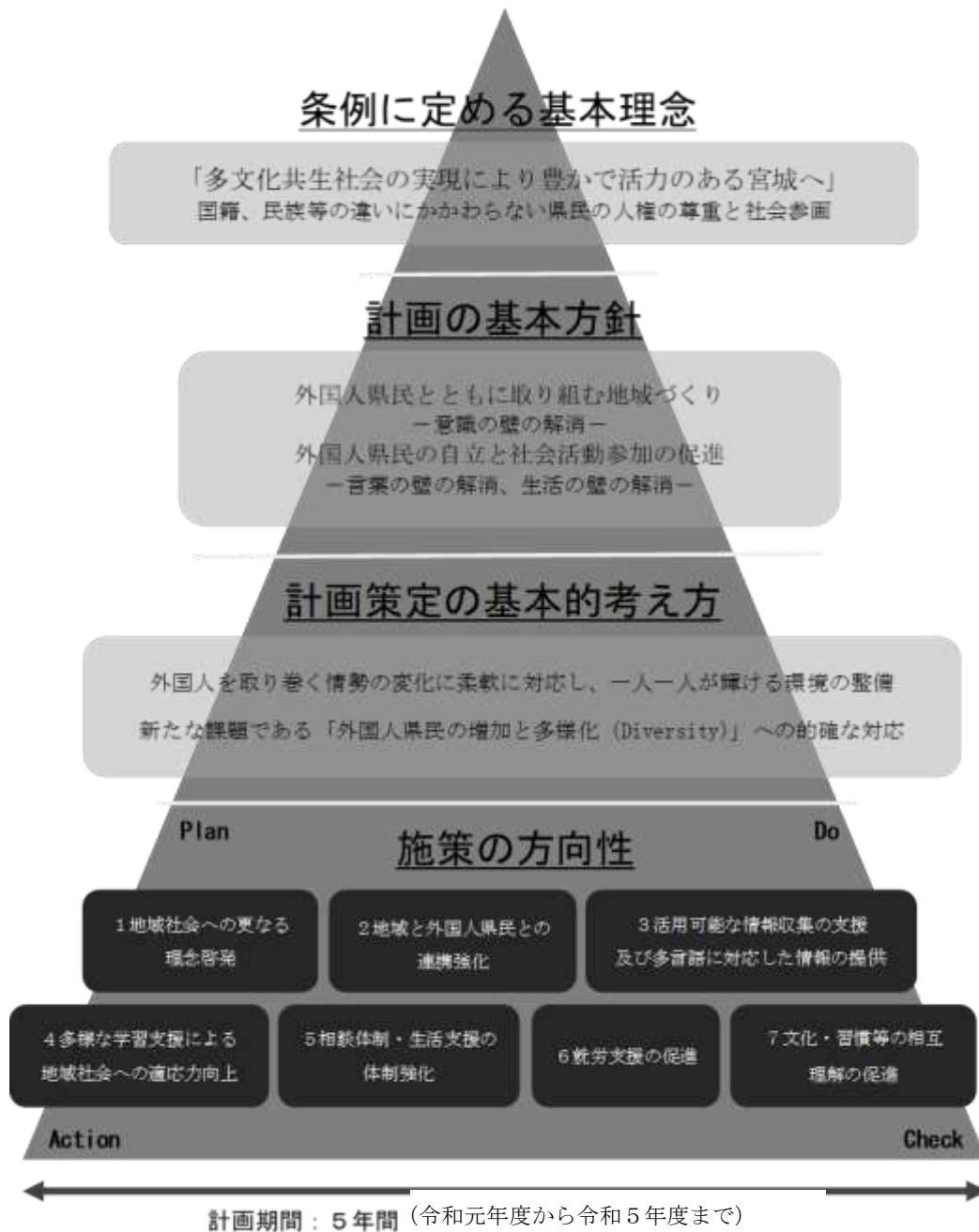
令和 4 年 6 月
宮 城 県

目 次

基本方針と多文化共生施策の方向性	1
1 令和3年度に講じた多文化共生施策	
(1) 「意識の壁」の解消	
① 多文化共生シンポジウム事業	2
② 啓発ツール作成事業	3
③ 多文化共生社会推進審議会運営事業	4
④ 多文化共生市町村研修会事業	5
(2) 「言葉の壁」の解消	
① 多文化共生におけるコミュニケーション支援事業	5
② 災害時通訳ボランティア整備事業	8
③ 新型コロナウイルス感染症関連情報の多言語情報発信強化事業	
【コロナ対応】	9
(3) 「生活の壁」の解消	
① みやぎ外国人相談センター設置事業	9
② 新型コロナウイルス感染症に関する受診・相談センター及びワクチン 副反応相談センターの多言語対応【コロナ対応】	10
③ 技能実習生等との共生の地域づくり推進事業	11
④ 外国人コミュニティリーダーとの意見交換	11
⑤ 外国人材マッチング支援事業	12
2 宮城県多文化共生社会推進計画の評価指標における進捗状況	13

基本方針と多文化共生施策の方向性

(第3期宮城県多文化共生社会推進計画より)



【参考1】多文化共生社会の定義 (条例第2条関係)

「多文化共生社会」とは、国籍、民族等の異なる人々が、互いに、文化的背景等の違いを認め、及び人権を尊重し、地域社会の対等な構成員として共に生きる社会をいう。

【参考2】議会への報告等 (条例第21条関係)

知事は、毎年度、多文化共生社会の形成の推進に関して講じた施策を県議会に報告するとともに、公表するものとする。

1 令和3年度に講じた多文化共生施策

(1) 「意識の壁」の解消

【事業の取組方針】

「意識の壁」の解消に向け、広く基本理念の普及・啓発を行い、県民や関係機関等との推進体制の整備を図る。

① 多文化共生シンポジウム事業（事業費：355,244円）

「多様な人材が支える地域の未来」をテーマに、多様な人材が様々な立場で地域の多文化共生社会の形成につながる活動を行っているほか、東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンとして事前合宿を受け入れる等、好事例が続く加美町と共催で「多文化共生シンポジウム in 加美」を開催し多文化共生に関する理解促進を図った。また、当日の記録を加美町の全世帯及び企業に周知することで、多文化共生に関する意識の更なる醸成を図った。

■ 日 時：令和4年1月30日（日） 午後1時から午後3時まで

■ 場 所：中新田バツハホール

■ 来場者数：57名

■ プログラム：

□ 現状報告：宮城県経済商工観光部国際政策課 江間 仁志

□ 基調講演：加美町スポーツ推進室国際交流員 カタリーナ サラビア氏

「Holla(ワ)!が町 加美町とチリの懸け橋として
～ホストタウンから広める『心のバリアフリー』～」

□ パネルディスカッション：

「地域を支える外国人と考えるこれからの加美町」

・コーディネーター 公益財団法人宮城県国際化協会 総括マネージャー 大泉 貴広 氏

・パネリスト 加美町国際交流協会会長 今藤 紀雄 氏

加美町スポーツ推進室国際交流員 カタリーナ サラビア 氏

加美町地域おこし協力隊 楊 采容 氏

旭興業株式会社 技能実習生 グエン ヴァン ティ 氏

□ 講 評：加美町長 猪股 洋文 氏



(ポスター)



(基調講演)



(パネルディスカッション)

② 啓発ツール作成事業（事業費：323,675円）

地域の外国人住民と接する機会のある民生児童委員を対象とした啓発チラシを作成し、県内約5,000人の民生児童委員に配付することで、多文化共生に関する理念啓発を図ったほか、トートバックを作成し、シンポジウムの参加者等に配付した。

多文化共生社会の実現のために

宮城県では多文化共生のまちづくりに取り組んでいます。

「多文化共生社会」とは、国籍、民族等の異なる人々が、互いに文化や習俗等の違いを認め、人種を尊重し合い、地域社会の対等な構成員として共に生きる社会のことです。

あなたの地域にはどのような外国籍の方がお住まいか知っていますか？

宮城県内に在住する外国人は年々増加し、2019年には2万3,000人を超え、過去最高を記録しました。特に、留学帰や技能実習生帰りの外国人が増えています。

県民数の占める外国人の割合

県民数の占める外国人の割合

知っていますか？ 外国人住民にとっての3つの壁

言語の壁

国籍や文化などの違いから日本人と外国人双方が理解的な関わりを築けてしまう。

言葉の壁

言葉がわからず、ゴミ出しや交通機関の利用方法など、生活に必要な情報が得られない。

生活の壁

制度を知らなかったり、理解していなかったりなどして、必要なサービスを受けられない。

こんなことから始めませんか？

地域の行事に参加

外国人の方があなたの住んでいる地域で暮らすことになったら、まず地域の行事に参加してもらえよう、働きかけをしましょう。自治会（町内会）にも参加してもらえようといえます。

一緒に防災訓練

災害が少ない国で暮らす外国人の方は、実際に災害が起きたときに、どうしたらいいかわからないことがあります。地域の防災訓練に参加していただくことで、対応方法を学ぶことができます。また、地域に在住外国人と日本人がお互いに知り合うことができます。

こんなことが役立ちます！

「やさしい日本語」の使用

「やさしい日本語」とは難しい漢字を言い換えたり、文を短くしたりするなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。外国人の方だけでなく、高齢者や障害者、子どもへの福祉促進のためにも役立ちます。宮城県内には様々な外国人の方が暮らしていますが、全ての国籍で対応することは難しいです。そこでコミュニケーション手段として有効なのが「やさしい日本語」です。

話す際のポイント

- ゆっくり、はっきり話す
- 簡単な単語を使う/言い換えをする
例：母 → お父さん、お母さん
- 1つの文を短くする
「です」「ます」で文を区切る
- 簡短な文章、疑問や依頼は使わない
～はご遠慮ください。～しないでください
- 敬語・謙敬語は使わない
どなたですか。 → 誰ですか

実践例

- 案内した場所への外出を自力で行らす
- 看板へ添削してください

→ 効果 →

- 入が 多いとこに できもだけ 行かない
- 高いとこへ 逃げてくたさい

災害の備えに関する多言語情報の活用

宮城県では、「外国人暮らしのための防災ハンドブック」を作成しています。いつ発生するかわからない地震や津波、その他災害から身を守るための基本的なことを掲載しています。

対応言語：日本語、英語、中国語、韓国語、タガログ語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語

ダウンロード：多言語ホームページ（外国人暮らしのための防災ハンドブック）
<https://www.pref.miyagi.jp/ste/tabaska/bosei-handbook.html>

みやぎ外国人相談センター TEL: 022-275-9990

（公財）宮城県国際化協会（財）内には、外国人暮らしご本人からのさまざまな相談に多言語で応じる「みやぎ外国人相談センター」が開設されています。相談員の通訳を介して、外国人暮らしと各種相談窓口担当者や実務員をはじめ外国人の方を支援する方との意思疎通を円滑にすることに貢献いただけます。

- 対応言語：中国語、韓国語、英語、タガログ語、ベトナム語、ポルトガル語、インドネシア語、ネパール語、スペイン語、ロシア語、タイ語、ヒンディー語、日本語
- 曜日・時間：月曜日～金曜日 9:00～17:00 ※第二種国民年金未納の方は対応できません。

こんなときは、「こちらの情報がきちんと伝わっていないかも…」
 ご質問ください！ 「外国人の方に連絡したいことがあるけど、日本語がわからないよ！」

MIA 宮城県国際化協会

宮城県・宮城県人権啓発活動ネットワーク協議会（みんなの人権110番）0570-003-110

宮城県 経済商工観光部 国際政策課
 〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3丁目8-1
 電話 022-211-2972 / E-mail kokusaku@pref.miyagi.jp

③ 多文化共生社会推進審議会運営事業（事業費：176,972円）

宮城県多文化共生社会推進審議会を開催。前年度に講じた施策や令和年度多文化共生推進事業について審議した。

■第1回 令和3年6月3日（木）〔出席委員：9名〕

議題 (1)令和2年度多文化共生社会の形成の推進に関して講じた施策について
(2)令和3年度多文化共生推進事業について

■第2回 令和4年2月2日（水）〔出席委員：8名〕

議題 (1)多文化共生推進に向けた主な取組について
(2)第5期みやぎ国際戦略プラン（中間案）について



(審議会の様子)

■委員名簿（敬称略・五十音順）

（令和4年3月31日現在）

	所属・役職	氏名	備考
1	東北学院大学経済学部共生社会経済学科教授	石川 真作	
2	宮城教育大学教育学部国際教育領域教授	市瀬 智紀	会長
3	みやぎ外国人相談センター相談員	金 才 努	
4	SenTia通訳サポーター MIA国際理解教育講師，外国籍子どもサポーター	小松崎 あんな	
5	南三陸町国際交流協会理事	佐藤 金枝	
6	宮城労働局職業安定部長	竹内 ひとみ	
7	宮城県中小企業団体中央会副会長	針生 英一	
8	仙台弁護士会	藤田 祐子	
9	仙台市立国見小学校教諭	横山 広佳	
10	東北大学高度教養教育・学生支援機構 グローバルラーニングセンター准教授	渡部 留美	副会長

④ 多文化共生市町村研修会事業（事業費：0円）

※多文化共生におけるコミュニケーション支援事業の一部として実施

外国人県民を地域で受け入れる環境整備に係る市町村の主体的な取組を推進するため、市町村職員等を対象に、外国人対応や情報発信の際に役立つ「やさしい日本語」の研修会を開催した。

■日 時：令和3年11月15日（月）午後1時30分から午後3時30分まで

■場 所：宮城県自治会館9階 研修室

■参加者：14名

■プログラム：

- ・「やさしい日本語」の基礎知識
- ・実践「やさしい日本語」（話し言葉編／書き言葉編）

講師：公益財団法人宮城県国際化協会 大泉貴広氏



（研修会の様子）

（2）「言葉の壁」の解消

【事業の取組方針】

「言葉の壁」の解消に向け、多言語化支援を行うとともに、外国人県民等への学習支援を図る。

① 多文化共生におけるコミュニケーション支援事業【新規】（事業費：4,394,500円）

（公財）宮城県国際化協会（MIA）に委託し、令和2年度「日本語学習に係る調査研究事業」の成果をもとに、外国人と日本人のより実用的なコミュニケーションの確立を目指すため、外国人と日本人双方に対して多文化共生のためのコミュニケーション支援を実施した。

＜外国人向けコミュニケーション支援の実施＞

【多賀城市】

■交流サポーター育成講座

- 実施日：令和3年7月4日（日）午後1時30分～午後4時
令和3年7月11日（日）午後1時30分～午後4時

○場 所：多賀城市大代地区公民館

○受講者：14名

○内 容：地域の現状、企業における外国人技能実習生の受入事例、外国人技能実習生出身国の言葉と文化（ベトナム編・ミャンマー編）、やさしい日本語

■日本語による交流活動の実施

- 実施日：ア. 令和3年7月31日(土)午後1時～午後4時
イ. 令和4年1月10日(月)午前10時～正午
- 場 所：多賀城市大代地区公民館
- 受講者：ア. ミャンマー人技能実習生17名，交流サポーター等日本人22名
イ. ミャンマー人技能実習生12名，交流サポーター等日本人28名
- 内 容：ア. ミャンマー人技能実習生と交流サポーター等日本人が小グループに分かれて様々なテーマに基づいて日本語で会話
イ. 日本の正月の遊びの体験を通じた交流



(育成講座の様子)



(交流活動の様子)

【仙台市】

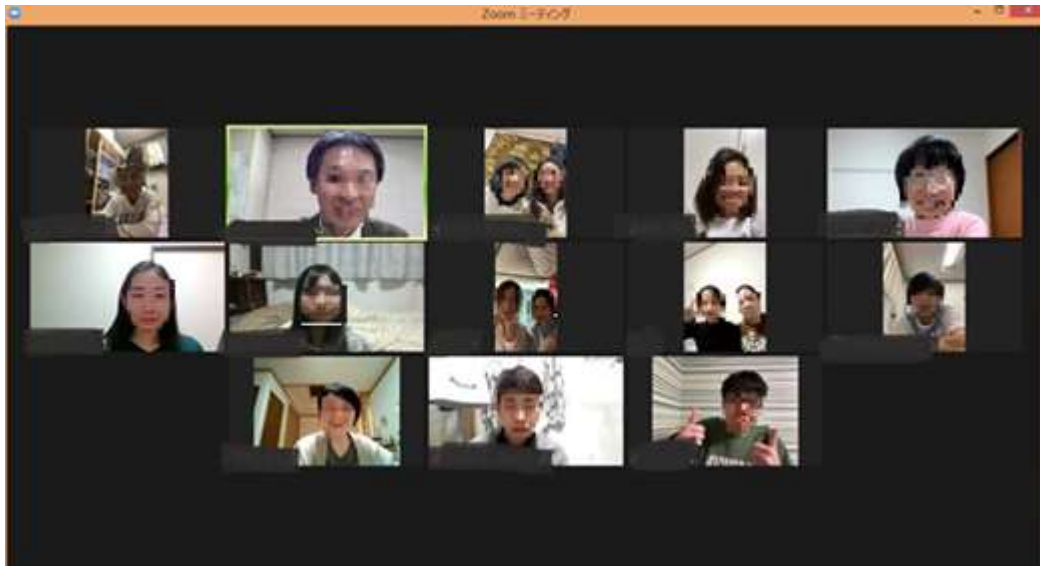
■オンライン日本語講座

- 実施日：令和3年12月1日(水)～令和4年2月18日(金)
毎週水・金曜日(祝日・年末年始除く)，全18回
 - ・初級1：午前9時30分～午前10時45分
 - ・初級2：午前11時～午後12時15分
- 講 師：MIA日本語講座講師7名
- 受講者：MIA日本語講座令和3年度第1期受講者
 - ・初級1：4名(中国，ベトナム，イギリス，オーストラリア)
 - ・初級2：5名(中国2，インドネシア，タイ，アメリカ)
- 使用教材：初級1：『いそどり生活の日本語入門』(国際交流基金)
初級2：『いそどり生活の日本語初級1』(国際交流基金)
- 使用ツール：ZOOM

【石巻市】

■オンラインで日本語交流

- 実施日：令和3年12月3日(金)，12月17日(金)，令和4年1月21日(金)，
2月18日(金)，いずれも午後7時30分～午後9時
- 参加者：ベトナム人技能実習生8名(石巻市鮎川浜在住者2名，同塩富町在住者6名)
石巻専修大学学生5名，石巻市役所職員等2名，石巻市国際交流協会会員1名
- 内 容：MIA地域日本語教育アドバイザーの進行のもと，各回のテーマに則した語彙や文型を全員で確認した後，Zoomのブレイクアウトルーム機能を用いて小グループに分かれて会話を行った。
- 使用ツール：Zoom



(オンラインで日本語交流の様子)

<日本人向けコミュニケーション支援の実施>

■「やさしい日本語」研修会

【仙台市】※多文化共生市町村研修会事業として実施（再掲）

- 実施日：令和3年11月15日(月)午後1時30分～午後3時30分
- 場 所：宮城県自治会館9階
- 内 容：講義と演習「市町村職員のための『やさしい日本語』」
- 講 師：宮城県国際化協会 大泉貴広氏
- 対 象：宮城県内市町村等職員
- 参加者：14名（10市町及びその他5団体）

【柴田町】

- 実施日：令和4年1月14日(金) 午後1時30分～午後3時
- 場 所：柴田町地域福祉センター多目的ホール
- 内 容：講義「柴田町内在住外国人の状況について」、事例紹介「外国人の柴田町での暮らしについて」、講義と演習「はじめての『やさしい日本語』」
- 講 師：柴田町まちづくり政策課 大森観月氏，柴田町内在住 ポールナッシュ氏，柴田町行政区長 阿部通夫氏，宮城県国際化協会 大泉貴広氏
- 対 象：地域で外国人住民と接する機会が多い町内在住者，多文化共生に関心のある町内在住者
- 参加者：30名
- 協 力：柴田町社会福祉協議会，柴田町



(研修会の様子)

「やさしい日本語」研修

日時 2022年 1月14日(金) 13:30～15:00

会場 柴田町地域福祉センター 多目的ホール
(柴田町柴田町大字新町4番88)

内容 1. 柴田町内の在住外国人の状況について
2. 外国人の柴田町での暮らしについて
3. はじめての「やさしい日本語」

対象 町内にお住まいで、地域で外国人と接する機会がある方や多文化共生、国際交流に関心のある方

定員 30名 参加費 柴田町社会福祉協議会
〒982-5511 電話: 0224-58-1771 FAX: 0224-58-1070
E-mail: msh@shibatayo.jp
【お名前、お電話番号、お住居の郵便番号をお知らせください。】

「やさしい日本語」とは？
新しい単語を言い換えたり、文を短くしたりするなど、相手に理解して簡単な言葉で伝える日本語のこと。外国人とのコミュニケーションだけでなく、高齢者や子どもへの情報伝達にも役立つものとして、近年注目をされています。「やさしい日本語」の言い換え事例：両親→お父さんとお母さん、いらして→いらっしゃい→来てください

主催：(公財)宮城県国際化協会(MIA)・(社)柴田町社会福祉協議会
※宮城県委託事業
後援：柴田町 (宮城県国際化協会 TEL: 022-275-3736 E-mail: mia@mia-kyo.jp)

(チラシ)

【角田市】

- 実施日：令和4年3月3日(木)午後1時30分～午後3時
- 場 所：角田駅コミュニティプラザ（オーク・プラザ）イベントホール
- 内 容：講義「角田市内在住外国人の状況について」、講義と演習「はじめての『やさしい日本語』」
- 講 師：角田市まちづくり政策課菅野淳子氏、宮城県国際化協会 大泉貴広氏
- 対 象：地域で外国人住民と接する機会が多い市内在住者、多文化共生に関心のある市内在住者
- 参加者：9名
- 協 力：角田市、角田市社会福祉協議会



(研修会の様子)

② 災害時通訳ボランティア整備事業（事業費：231,110円）

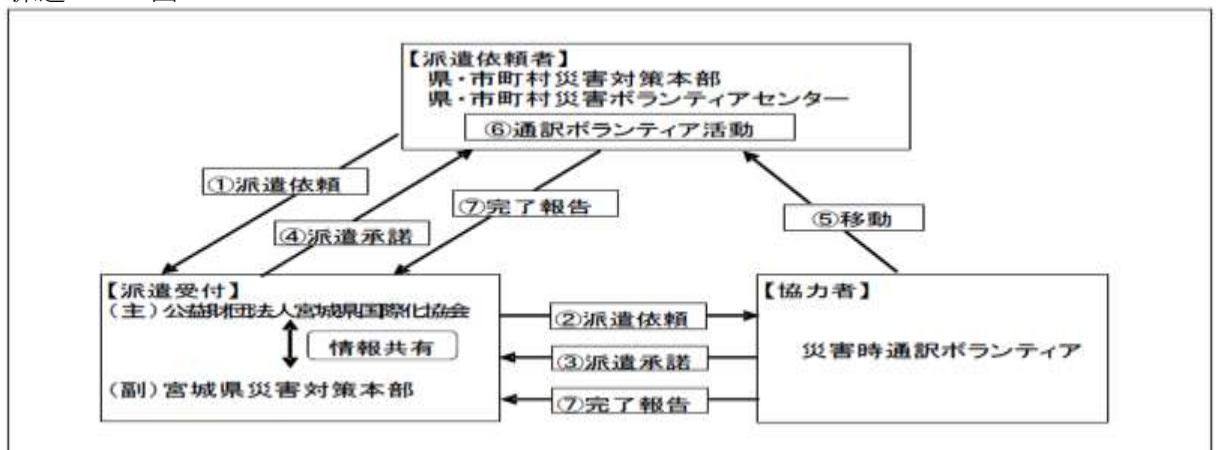
MI Aに委託し、県内で大規模災害が発生した際に、被災地からの要請に応じ速やかに通訳ボランティアを派遣できる体制整備を図るとともに、通訳ボランティアの確保・養成を行った。令和3年度末時点で121名、18言語での対応が可能となった。

■研修会の開催

MI A外国人支援通訳サポーター・災害時通訳ボランティア合同研修会（オンライン開催）

- 日 時：令和4年2月2日（水）午後1時30分～午後3時
- 参加者：24名
- 内 容：
 - ・宮城県内在留外国人とMI A外国人支援通訳サポーターの状況について
 - ・新型コロナウイルス感染症の通訳、実情と課題

■派遣フロー図



③ 多言語情報発信強化事業【コロナ対応】(事業費：960,300円)

コロナ禍における不安解消を図るため、外国人向けに様々な情報を発信しているMIAのホームページ及び宮城県ホームページの新型コロナウイルス感染症サイトにて多言語による情報発信を行い、外国人県民の不安解消を図った。



(県ホームページ)



(MIAホームページ)

(3) 「生活の壁」の解消

【事業の取組方針】

「生活の壁」の解消に向け、外国人県民等のサポートを行うとともに、活躍の支援を図る。

① みやぎ外国人相談センター設置事業 (事業費：5,252,500円)

MIAに委託し、外国人県民やその家族から寄せられた相談に対して、必要な情報提供や専門窓口の紹介など問題解決に向けたアドバイスをを行い、外国人県民の不安解消、問題解決等に寄与した。

相談センターには、相談センター相談員を配置するとともに、三者での通話可能な「トリオフン」機能を付加した電話機を設置し、外部多言語コールセンターを利用することで、13言語により相談に対応した。

■相談センター相談員の対応言語

日本語、英語、中国語、韓国語、タガログ語、インドネシア語、ベトナム語、ネパール語

※ 相談員の勤務日以外に上記言語での相談があった場合は、外部多言語コールセンターにより随時対応

■外部多言語コールセンターの対応言語

相談センター相談員の対応言語の他、ポルトガル語、ロシア語、スペイン語、タイ語、ヒンディー語

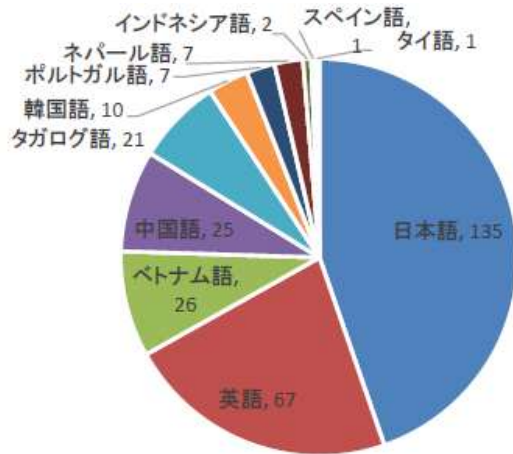
■相談対応件数 302件

■男女構成比 女性158件(52%)、男性144件(48%)

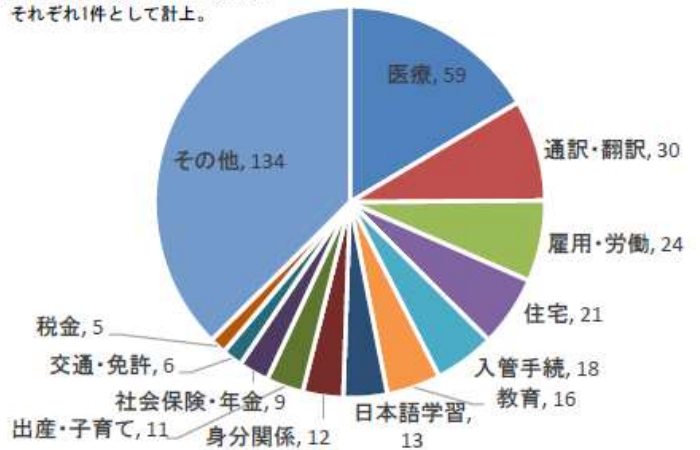
■相談手段 電話269件(89%)、来所19件(6%)、その他14件(5%)

■相談対応言語

■相談内容



※相談内容が複数にわたる場合は、それぞれ1件として計上。



② 新型コロナウイルス感染症に関する受診・相談センター及び副反応相談センターの多言語対応【コロナ対応】(事業費：1,656,600円)

県が設置している新型コロナウイルス感染症に関する受診・相談センター及び副反応相談センター(コールセンター)について、外国人県民からの相談があった場合、相談者、コールセンター及び通訳オペレータによる3者間通話により多言語相談ができる体制を整備することで、コロナ禍における外国人県民の不安解消に繋げた。

■対応言語 12言語

■対応時間 24時間365日(英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語)

平日 8:30~18:00(タイ語・ネパール語・ベトナム語・ロシア語・

タガログ語・インドネシア語・ヒンディー語)

■実績 コールセンター相談件数 136,752件

うち多言語コールセンター利用件数 156件



③ 技能実習生等との共生の地域づくり推進事業（事業費：70,576円）

地域における受入環境整備を図るため、多文化共生シンポジウムの第二部として、加美町及び加美町国際交流協会が実施した文化交流事業の支援を行い、地域住民と技能実習生等外国人住民との交流機会を創出した。

- 日 時：令和4年1月30日（日） 午後3時から午後4時まで
- 場 所：中新田バッハホール
- 来場者：77名
- 内 容：火伏の虎舞，太鼓体験で国際交流



（火伏の虎舞，太鼓体験の様子）

④ 外国人コミュニティリーダーとの意見交換【新規】（事業費：35,568円）

外国人県民が地域で暮らす上で効果的な施策を検討していくため、知事が様々な分野で活躍する外国人県民から直接意見を聞く座談会を実施した。

- 日 時：令和4年2月18日（金）午後1時30分から午後2時30分まで
- 場 所：宮城県行政庁舎4階 庁議室
- 参加者：宮城華僑華人女性联谊会事務局長 梅 琴（メイ・チン）氏
宮城アフリカ協会会長 アスィードウ・アイザック・ヤウ氏
海外在住ネパール人協会日本支部（仙台）理事長 シュレスタ・ハリ・ゴパル氏
- 内 容：参加者の自己紹介及び団体活動紹介，知事と参加者との意見交換



（座談会の様子）

⑤ 外国人材マッチング支援事業（事業費：16,944,290円）

県内中小企業における外国人材の受入環境の整備を総合的に支援するため、企業相談窓口を設置するとともに、各種セミナー、合同企業説明会等を実施し、県内企業における外国人材の採用・活用を図った。

■「外国人材バンク」及び「企業バンク」の形成

【登録数】外国人材バンク：261名，企業バンク：116社

■企業相談窓口の運営（相談件数162件）

■外国人向けセミナー（常設型オンラインセミナー）の実施（全11回）

■企業向けセミナー（常設型オンラインセミナー）の実施（全6回）

■その他セミナー（日本語能力試験N1～N3対策講座，常設型オンラインセミナー）の実施（全10回）

■合同企業説明会（対面開催：参加企業延べ30社，外国人材延べ157人）

■企業訪問ツアー（対面開催：参加企業延べ13社，外国人材延べ15人）

■企業と外国人の交流会の実施（対面開催：参加企業延べ24社，外国人材延べ31人）



（合同企業説明会の様子）



（企業訪問ツアーの様子）



（交流会の様子）

2 宮城県多文化共生社会推進計画の評価指標における進捗状況

評価指標 1 多文化共生啓発事業を実施している市町村数

■指標説明

市町村が実施する啓発関連イベントのほか、関係部署・関係者との会議の開催を含む

■目標値 R5 : 35市町村

【考え方】

最終的にはすべての市町村による実施が望ましいことから、県内35市町村を目標に設定

■進捗状況 R3 : 7市町村

【実施市町村（7市町村）】

仙台市、塩釜市、白石市、名取市、岩沼市、蔵王町、加美町

【新型コロナウイルス感染症の影響等により事業を中止した市町村（10市町）】

石巻市、気仙沼市、多賀城市、栗原市、大崎市、亶理町、松島町、七ヶ浜町、美里町、南三陸町

評価指標 2 多文化共生に関する説明会等に参加した県民の数

■指標説明

町内会、民生委員など地域の推進役に対する各種研修会等での多文化共生に関する説明、情報提供などに参加した県民の数

■目標値 R5 : 2,300人

【考え方】

年10%の増加を見込んだ数

■進捗状況 772人（R1 : 441人, R2 : 119人, R3 : 212人）

【結果】

R3年度参加人数 : 212人

【内訳】

- ・宮城県 : 「多文化共生シンポジウム」(1箇所, 57人)
- ・ 〃 : 「やさしい日本語研修」(3箇所, 延べ53人)
- ・石巻市 : 「出前講座(国際交流と多文化共生のはなし)」(14人)
- ・名取市 : 「中学生多文化共生交流会・国際交流事業協力者研修会」(36人)
- ・岩沼市 : 「やさしい日本語講座」(52人)

【新型コロナウイルス感染症の影響等により中止した事業】

- ・気仙沼市 : 「ジュニア国際塾」, 「外国人のための防災講座」
- ・大崎市 : 「多文化共生シンポジウム&第12回国際交流フェスティバル」

評価指標 3 多言語による生活情報の提供実施市町村数

■指標説明

生活に関する情報を日本語以外の言語で提供している県内の市町村の数

■目標値 R5 : 35市町村

【考え方】

最終的にはすべての市町村による実施が望ましいことから、県内35市町村を目標に設定

■進捗状況 R3 : 29市町村

【実施市町村】

仙台市, 石巻市, 塩竈市, 気仙沼市, 白石市, 名取市, 角田市, 多賀城市, 岩沼市, 栗原市, 東松島市, 大崎市, 富谷市, 蔵王町, 大河原町, 村田町, 柴田町, 丸森町, 亶理町, 松島町, 七ヶ浜町, 利府町, 大和町, 大郷町, 色麻町, 加美町, 美里町, 女川町, 南三陸町

※R2から3市町(亶理町, 利府町, 加美町)増加, 1市(登米市)減少

評価指標 4 日本語講座など日本語学習支援及び関連する取組を実施している市町村数

■指標説明

日本語講座や日本語教室の開設に加え, その他の日本語学習支援や関連する取組を含む

■目標値 R5 : 35市町村

【考え方】

最終的にはすべての市町村による実施が望ましいことから、県内35市町村を目標に設定

■進捗状況 R3 : 10市町村

【実施市町村】

仙台市, 石巻市, 塩竈市, 気仙沼市, 名取市, 角田市, 登米市, 大崎市, 亶理町, 美里町

【新型コロナウイルス感染症の影響等により休止している市町村】

栗原市, 松島町, 南三陸町

※R2から1市(岩沼市)減少

評価指標 5 外国人相談対応体制を整備している市町村数

■指標説明

他団体等と連携して外国人相談に対応できる体制を整備している場合も含む。

■目標値 R5 : 15市町村

【考え方】

前計画の目標値の1.5倍

■進捗状況 R3 : 13市町村

【実施市町村】

仙台市, 石巻市, 気仙沼市, 名取市, 角田市, 岩沼市, 登米市, 栗原市, 大崎市, 富谷市, 川崎町, 七ヶ浜町, 加美町

※R2から4市町(大崎市, 富谷市, 七ヶ浜町, 加美町)増加

評価指標 6 (i) 技能実習を除く外国人雇用者数 (厚生労働省調べ) 【各年 10 月末現在】
(ii) 外国人就労支援セミナー等の参加事業所数

■指標説明

- (i) 技能実習を除いた外国人雇用者の数
- (ii) R 元年度から R 5 年度までの合計事業所数

- 目標値 (i) R 5 : 12,000 人
(ii) R 5 : 1,500 事業所

【考え方】

- (i) H 26 から H 29 までの平均増加率による増加見込み
- (ii) 年 10% の増加を見込んだ数

■進捗状況

- (i) R 3 : 9,496 人

【結果】

前年度 (9,386 人) から外国人雇用者数は 110 人増加した。
(前年度増加率 1.17%)

- (ii) 617 事業所 (R 1 : 378 事業所, R 2 : 172 事業所, R 3 : 67 事業所)

【結果】

R 3 年度参加事業所数 : 67 事業所

【内訳】

- ・宮城県外国人材マッチング支援事業
(合同企業説明会 : 30 事業所, 企業訪問ツアー : 13 事業所, 交流会 : 事業所)

※企業向けセミナー (常設型オンラインセミナー) は, 参加事業者数が不明のため実績から除外 (閲覧総数 105 回)

評価指標7 文化・習慣等の相互理解の促進に係る取組の参加者数

■指標説明

R元年度からR5年度までの合計人数

■目標値 R5：3,500人

【考え方】

年10%の増加を見込んだ数

■進捗状況 3,226人(R1：1,926人, R2：691人, R3：609人)

【結果】

R3年度は、609人の参加。

【内訳】

- ・塩竈市：「塩竈市中学生国際交流研修事業」(5人)
- ・気仙沼市：「気仙沼インドネシア交流事業」(125人)
- ・白石市：「料理を通じて世界を知る会」(18人)
- ・名取市：「中学生多文化共生交流会・国際交流事業協力者研修会」(36人)
- ・岩沼市：「ございんIWANUMAワールドフェス」(300人)
- ・亘理町：「はらこめしの作り方(多言語版動画配信)」(10人)
- ・加美町：「国際理解イベント台湾講座“台湾ここだけの話”」(10人)
- 〃：「文化体験“火伏せの虎舞”」(77人)
- ・涌谷町：「韓国料理教室」(8人)
- ・MIA：「技能実習生地域共生支援事業」(20人)
- ・仙台市：「せんだい多文化まちづくりチャンネル(動画配信)」(参加者数不明)

【参考：新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】

- ・石巻市：「じゃぱNeeds塾」
- ・気仙沼市：「インドネシアの人と食を通じた交流会(ホストタウンイベント)」
- 〃：「やさしい日本語研修(市民向け)」
- ・多賀城市：「国際理解教室“お隣さんが外国人だったらどうしよう”」
- ・大崎市：「多文化共生シンポジウム&第12回国際交流フェスティバル」
- ・丸森町：「東京オリンピック・パラリンピック ザンビア交流事業」
- ・松島町：「食で知ろう世界のワインの夕べ」
- ・利府町：「利府町交際交流協会事業」
- ・美里町：「国際交流フェスタ」
- ・南三陸町：「産業フェア出店」
- ・MIA：「みやぎのふるさとふれあい事業」